

【2024 年度地域連携事業費報告書】

こどもの感性と創造性を育む 五感をとおした美的経験によるアートプログラム開発Ⅲ

代 表 者：鈴木光男（国際教育学部）
協力者・連携機関：坂田芳乃（アルテ・プラーサ代表）
藤田雅也（静岡県立大学短期大学部 教授）
笥 有子（浜松学院大学 准教授）
島口直弥（浜松市美術館 指導主事）
渡川智子（国立京都近代美術館 学芸員）
山中 悠（静岡市美術館 臨時職員 学芸員）
鈴木海斗（GoldenJunk 代表アーティスト）

【経緯】

一昨年度からアルテ・プラーサ（協力団体）主催の「感覚を活かしたこどもの表現活動としてのアートプログラム」を協力者らとともに開発する研究会を開催し、事例を基にアートプログラムの開発とモデル事業を実施してきた。その成果については、2023年8月の日本実戦美術教育学会にて発表した。その後は、静岡県立浜松みをつくし特別支援学校や磐田市地域づくり協議会・自治会と連携・協力しシャッターアート制作にも取り組んだ。2024年度は、ここまでで得られた知見をもとに、スクールミュージアムというプログラムを核に試行実践し、その成果や課題を整理し、その他の地域や保育・教育現場に密着した事業が展開できるようにしていこうと考えている。

【事業概要】

本年度の核となる事業「スクールミュージアム」は、地域のアーティストの作品を小学校で2週間程度展示し、子供がアート作品に身近で接する機会を創出したものだ。作品展示・鑑賞だけではなく、子供とアーティストが直接関わり、作品に関する意見交換・交流の場も設けられた。

この場では、作品を鑑賞するにとどまらず、アーティストの作品を子供たちの思いや考えで展示したり、障がいのある子供たちにも作品製作の機会を提供したりして、様々なアートプログラムの提案をする。

まずはモデル事業として三島市の小学校で実践し、その成果をDVDなどにまとめ、県内各地の校長会や教育委員会などに配布し普及・啓発活動を行うことを想定している。

【期待される効果・成果】

県内東部・中部・西部各地に広げるための「美的経験によるアートプログラム」の先行モデルとして、まずは三島市内の学校で実践を展開した。その成果と課題を整理し、保育・教育現場で具体的に実践できるように一つのパッケージとして提案することを想定している。こうした提案は、障がいのあるなしに関係なく全ての教育・保育現場での活用に大いに寄与するものとする。また、外部の団体やアーティストと共に活動することで、協働・参画する学生たちの意識が保育者・支援者・教育者として転換していくことが期待できる。

【目的】

不透明な時代を生きる子供には、「何かを生み出したり表現したりする、新しいものを創り出す創造性」が強く求められている。また、子供は本来、視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚といった五感を駆使して自らの世界を認識し、さらに出会う世界を広げていく。しかし、DX化が進展する社会では、触れなくても触れたように感じる間接的な体

【2024 年度地域連携事業費報告書】

験が増え、直接感覚を刺激する機会が減少している。

こうした中、次世代を担う子供たちに、見えないものを表現したり、言語化したりする「五感をとおした美的経験」をもとに日常的に感性と創造性を育む環境・機会を提供する。子供が体験等を通じて、感覚から感じたことを表現し対話することにより、様々な見方があることを知ると同時に自由で独創的な発想を育み、将来の多様な世界への視野を広げられるよう、未来の人づくりを応援するものである。

【実施方法】

アーティストと子供を出会わせる企画や事業を検討し、県内各地の学校教育現場や地域住民と協働した活動を展開し、参与観察記録・振り返りを共有することでアートプログラム開発に資する知見を得る。

下の表 1 は、本事業に関わる 2024 年度 KIDS ART WEEKS のスケジュールである。

表 1 本事業に関わる 2024 年度 KIDS ART WEEKS スケジュール

開催日	概 要	展示・WS 等の開催予定
1/8～10	アーティスト作品展示準備 (アーティスト) 白砂勝敏 ナガタトシヒロ 奥村祐喜 永治晃子	作品搬入・展示準備(決定) 2025年1月8日(水) ～10日(金)9:00～16:30
1/14～24	作品展示・ワークショップ・アーティストトーク他	1/24は撤去
1/14	自由鑑賞 先生に向けた作品解説(未定) アーティスト4人(未定)	1月14日(火)(教師用) 15:00～
1/14～23 昼休み等	展示作品を鑑賞し、子供たちが学校内で「これもアート」だと思えるものを探検する。	
1/15～17 ～23	子供に向けたアーティストトーク 卒業作品制作	対象と開催日を学校と相談
	対話型鑑賞 ・ベラスケス「ラスメニーナス」他 講師 渡邊千春(清水中講師)	対象 5年生3クラス
1/15・16	即興演奏+動読「三年とうげ」と美術表現 演奏:白砂勝敏 動読:奥野晃士 表現:永治晃子・二村有音 *3・4年生全員(約160名)で体験 *会場は体育館	・3・4年生全員 ・即興演奏+動読「三年とうげ」20～30分 ・美術表現60分程度
1/14	即興演奏+動読と表現 演奏:白砂勝敏 動読:奥野晃士 表現:奥村祐喜 ・会場は体育館、多目的室、廊下	
1/24	展示作品撤去作業	

公立小学校を会場とした2週間に渡る今回の事業は、初めての試みであり、国内外で注目を集めるものとなった。2025年3月7日(金)の日本 OECD 共同研究オンラインセミナー『こどもの《声》から始まる居場所づくり～自分?学校?社会?』では、本事業協力者の坂田(アルテ・プラーサ代表)と本事業代表者 鈴木で「アーティストとスクールマッサージ」というタイトルで事業報告・研究発表を行った。

倫理審査	<input type="checkbox"/> 承認番号() <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない	
利益相反	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり()	
発表状況	種 別	<input type="checkbox"/> 著書 <input checked="" type="checkbox"/> 論文 <input type="checkbox"/> 学会発表 <input checked="" type="checkbox"/> 紀要 <input type="checkbox"/> その他()
	年月日	2025年 8月 9日 (<input type="checkbox"/> 確定 <input checked="" type="checkbox"/> 予定)